



## 齋藤博嗣 (さいとうひろつぐ) プロフィール

- ・ 一反百姓「じねん道」(齋藤ファミリー農園) 農園主
- ・ アグロエコロジスト (agroecologist)
- ・ 農的ワークライフバランス研究者
- ・ 家族農林漁業プラットフォーム・ジャパン (FFPJ) 常務理事
- ・ 上智大学：基盤教育センター 身体知領域 非常勤講師
- ・ 東京学芸大学：教育創成科目『自然体験学習論』講師

- 2005年に東京から茨城県の農村へ夫婦で移住し、新規就農。

「じねん道」(Jinendo)の屋号で、夫婦と子ども2人(家族4人)で、小さな家族農園“一反百姓(イッタンビヤクショウ)”=齋藤ファミリー農園を経営

- じねん道は、小さな田畑山林に、手足を使って、種を蒔き、失われつつある地球環境を回復し、次の世代に引き継ぐ、アグロエコロジー (Agroecology)「地球で生きるための農」「地球を生かす農」=福岡正信・自然農法で『緑の百姓哲学』を実践
- 私たちにとっての「百姓」は、換金農作物を作るだけの「農業」ではなく、生き方のベース(基盤)に“農”を置く、「農的」という視点を重視したマネジメント『農的ワークライフバランス』を実現する職業・暮らし方
- 老若男女共同参画『家庭円満農場』子育てと農的暮らしの両立は、私たち夫婦に親として生きる力を授けてくれる。自然の力を頂いて私たちは生きている原点に立ち還り、自然と深くつながることができる「家庭自給生活」を自学自習中。
- こども百姓「じねん童」:子どもたちは、五感すべてをとぎすませる農を通じて、身の丈を知り、自らを治め地に従う自制心を養い、他者との比較ではない、自然の中で自分自身を育てる力(Jinendo)を身につける
- 自然は無教育にして最大の教育者。今の時代はあまりにもモノが増えすぎ、便利になりすぎて、欲望に従って世の中が動いています。本当に大切なことは目に見えません。根を深く張り枝葉を広げ、地球という故郷を未来の世代へ!



- 2011年3月11日福島第一原発事故以降、家族みんなで自家採種したタネ（不耕起、無肥料、無除草、無農薬を4原則とする「福岡正信・自然農法」）『じねん道のたね』（固定種&在来種の種子）の販売を通して、「みんな一粒百姓にな〜れ！ Everyone, be One-Seed Farmers!」地球と共に生きる自給率『1年1%1人Up』からはじめよう！を展開中。



★ 一粒のタネから生きる自給率「1年1人1%UP」の暮らしをはじめよう★

- 2014年〜夫婦で、国連「国際家族農業年（2014年）」（IYFF2014:International Year of Family Farming）を支持。IYFFを10年延長することを求めるキャンペーン「国際家族農業年+10年」（IYFF+10）を応援する日本のサポーター組織「小規模・家族農業ネットワーク・ジャパン（SFFNJ: Small and Family Farming Network Japan）」設立（2017年6月）に参画。日本および世界で小規模・家族農業の役割と可能性を再評価し、農業・食料政策の中心に位置づけることを求める個人および団体のネットワーク活動を推進。





- 2019年～斎藤博嗣が、「家族農林漁業プラットフォーム・ジャパン(FFPJ:Family Farming Platform Japan)」設立に参画。常務理事に就任。国連「家族農業の10年(2019～2028年)」(UNFFF:United Nation Decade of Family Farming)の国際運営委員会と連携して、国内における家族農林漁業を中心とした食料・農業・農村関連政策の実施を通じて、持続可能な社会を実現する活動をしている。



●2024年～

▶上智大学：基盤教育センター 身体知領域 非常勤講師

(Sophia University/Adjunct Instructor) 全学共通・高学年向け科目

・担当授業科目『食と農と身体/FOOD AND AGRICULTURE THAT THINKS FROM THE BODY』・授業タイトル/Class schedule 地球市民皆農 ～農から「善く生きる」～

▶東京学芸大学:講師/担当授業 教育創成科目『自然体験学習論』

【近編著・監著】

◆テーマで探究 世界の食・農林漁業・環境①『ほんとうのグローバリゼーションってなに? 地球の未来への羅針盤』

池上甲一、斎藤博嗣 編著 2023年4月、農文協

◆『農家が教える わくわくマメづくり』栽培・保存・加工・レシピ

農山漁村文化協会(編者) 2022年8月、農文協

◆『よくわかる国連「家族農業の10年」と「小農の権利宣言」』

小規模・家族農業ネットワーク・ジャパン(Small and Family Farming Network Japan: SFFNJ)(編者)2019年、農山漁村文化協会



『食と農を支配するのは誰か？』

～グローバル化時代における社会運動、民主主義、人権への新たな課題～

上智大学 IGC、国際基督教大学 SSRI [共編]

(担当:分担執筆, 範囲:斎藤博嗣『「地球市民皆農」から「緑の生命連鎖へ」:地球で生きるための農、生存権としての自家採種』pp.63-73、

『パネルディスカッション:食と農の未来 私たちの選択』pp.83-128)

※上智大学 IGC の HP よりダウンロード可

[http://dept.sophia.ac.jp/is/igc/pdf/35th\\_kokusaisimpo.pdf](http://dept.sophia.ac.jp/is/igc/pdf/35th_kokusaisimpo.pdf)



- ・連載『ハリーナ』NPO 法人アプラ機関誌 コラム「ひろつぐとゆうこの<百姓の100章>」
- ・編書『百姓夜話 自然農法の道』福岡正信著（春秋社、2017年）
- ・取材協力 家族で楽しむ・こども農業雑誌『のらのら』No.19（農山漁村文化協会、2016年夏号）
- ・取材協力 家族で楽しむ・こども農業雑誌『のらのら』No.17（農山漁村文化協会、2015年冬号）
- ・編書『緑の哲学 農業革命論 ～自然農法 一反百姓のすすめ～』福岡正信著（春秋社、2013年）
- ・寄稿『君が生れたあの日』加藤登紀子編著（廣済堂出版、2013年発行）



【Web】斎藤博嗣&一反百姓「じねん道」の暮らしと仕事

- ◆【ネット販売】じねん道ネットショップ <https://jinendo.shopinfo.jp/>
- ◆【ブログ】百姓の100章～農的ワークライフバランス日記～ <http://blog.goo.ne.jp/hootenfarmer>
- ◆【ボランティア活動】グリーンピック・緑の道 <http://greenpic-jinendo.seesaa.net/>
- ◆【アグロエコロジスト】斎藤博嗣 <http://saito-hirotsugu.seesaa.net/>
- ◆【常務理事】家族農林漁業プラットフォーム・ジャパン(FFPJ) <https://www.ffpj.org/>